



中部学院の旬の話題をお届けする

中部学院大学報

Chubu Gakuin University & College News

2017
vol. 38

〈報告〉後援会総会・保護者懇談会を開催

12月21日(木) クリスマス礼拝・祝会 開催(関キャンパス)
3月17日(土) 卒業式 挙行(岐阜市、長良川国際会議場)

特集③

侍ジャパン大学代表 内海大寿選手インタビュー

特集②

スポーツ健康科学部始動 古田善伯学長×松岡敏男学部長 対談

特集①

新体育館・運動学実習棟完成 〈岐阜済美学院100周年事業〉



学校法人岐阜済美学院 創立100周年記念事業 多彩なイベントを開催

新体育館竣工 みんなの森の学校 記念祭典 ほか

今年大学開設20周年、短期大学部開設50周年、
2018年に本学を運営する学校法人岐阜済美学院が
創立100周年を迎えるのにあたり、
「人づくり100年 未来へつなぐ」を合言葉に、
今年度から2019年度までの3年間、
さまざまな記念事業を繰り広げています。



各務原キャンパスと隣接する学びの森では、学生が
さまざまな遊びを企画した「親子ふれあいフェスタ
(各務原市主催)」と「みんなの森の学校(本学主催)」を
行い、学生と子どもたちは楽しい時間を過ごしました
=各務原市、学びの森



表紙／新たに完成した体育館「栄光館」
=関キャンパス

中部学院大学報
2017
vol. 38
2017年10月発行

Chubu Gakuin
University & College News
CONTENTS

〈発行：大学報編集委員会〉

特集 新体育館・運動学実習棟 完成

① 04 ～岐阜済美学院100周年記念事業～

特集 スポーツ健康科学部 始動

② 06 古田善伯学長×松岡敏男学部長 対談

特集 侍ジャパン大学代表 ユニバーシアードで連覇

(硬式野球部 内海大寿選手インタビュー)

10 保護者の皆さんへ

後援会総会・保護者懇談会を開催

12 部・クラブ・サークル紹介

<ピックアップ> 学習支援サークル「Change(チェンジ)」
陸上競技部、ゴルフ部、吹奏楽部、アイリス、国体出場選手紹介

14 トピックス

岐阜県、関市・関市観光協会とそれぞれ連携
「美濃と飛騨のふくし」フィールドワーク実施 ほか

15 講演会

現代マネジメント研究、公開講座 ほか

岐阜済美学院創立100周年記念事業

新体育館・運動学実習棟 竣工

義足ダンサー大前光市さんらがステージ飾る



華麗なパフォーマンスを披露した義足のダンサーとして活躍する大前光市さん

男子新体操部が華麗で力強い演技を見せてくれました。また、リオデジャネイロ・パラリンピック閉会式で世界を魅了したプロダンサー・大前光市さんも登場。約500名の観覧者が見つめる中、音や映像とともに表現される世界に一つだけのダンスパフォーマンス

岐阜済美学院100周年記念事業「体育館・運動学実習棟竣工記念式典」を6月10日、関キャンパスの体育館などで行いました。竣工式に続いて行われた記念公演では、はじめに全国トップレベルで活躍する済美高校

力強い演技を見せてくれました。また、リオデジャネイロ・パラリンピック閉会式で世界を魅了したプロダンサー・大前光市さんも登場。約500名の観覧者が見つめる中、音や映像とともに表現



ダイナミックな演技を披露した済美高校新体操部の皆さん

を披露し、竣工に花を添えました。体育館と運動学実習棟の内覧会では、さまざまな機器の体験コーナーを設けたり、バレーボール部やバスケットボール部がデモンストレーションを行ったりしました。



お礼の花束を渡す中部学院大学・同短期大学部ふぞく幼稚園、桐が丘幼稚園の園児＝関キャンパス・新体育館「栄光館」



あいさつする学校法人岐阜済美学院の片桐多恵子学院長



運動学実習棟で行われた内覧会

体育館・運動学実習棟 スポーツの拠点として始動



バスケットボールコート2面分の広さがある体育館のアリーナ



スポーツ健康科学部が授業などで利用する運動学実習棟

体育館は鉄骨2階建て、延床面積は約2,829㎡。アリーナはバスケットボールコート2面分の広さ。室内ランニングコース、更衣室やシャワー室、教員控え室、監督室などを備えています。また、講義で利用するのをはじめ、クラブやサークル活動、イベントのほか、災害時における県の支施設となつていきます。

運動学実習棟は鉄骨平屋建て、床面積は約455㎡。スポーツ健康科学部が主に利用します。科学的に分析して検証を行う3次元分析装置をはじめ、多用途筋機能評価運動装置、呼吸ガス代謝分析装置などを完備。最新の実験機器を配置し、スポーツ科学、健康科



科学的に分析して検証を行う3次元分析装置など最新の実験機器を配置

学の研究に必要な環境を整えています。クラブハウス棟は、鉄骨プレハブ2階建て、延床面積が約186㎡。部活動の部室を設けています。



創立100周年記念ウェブサイト



学校法人創立100周年を記念したホームページを開発しています。片桐武司理事長、片桐多恵子学院長のあいさつや建学の精神などを紹介しているほか、「100年のあゆみ」では、これまでの軌跡を写真と文章を交えながら振り返ることができます。「人づくり100年」には、大学・短期大学の卒業生をはじめ、系列の済美高校、桐が丘幼稚園、ふぞく幼稚園の卒業生や団体へのインタビュー記事を読むことができます。また、100周年を記念したイベントの案内や行われた様子も集約されています。



岐阜済美学院創立100周年記念祭典

心の組曲「未来へのカンタータ」～ポローニアの丘の上で～

岐阜済美学院創立100周年記念祭典を11月25日、岐阜市の長良川国際会議場で行います。祭典テーマは「心の組曲『未来へのカンタータ』～ポローニアの丘の上で～」。カレーハウスCoCo壱番屋の創業者、宗次徳二氏の講演、100年の歩みの映像、岐阜済美学院ゆかりのある方々と学生、生徒、園児による音楽をお届けします。学院の100年の歩みと未来を発信します。詳細は、100周年記念ウェブサイトにて。

日時 2017年11月25日(土)
10:00～11:30(予定)

場所 長良川国際会議場
メインホールさらさ～ら
(岐阜市長良福光2695-2 Tel 058-296-1200)

学生が“あそび”を企画・運営 ～みんなの森の学校～

いろいろなあそびを通じて、親子で楽しむイベント「みんなの森の学校」を7月9日、各務原キャンパスで行いました。保育者や小学校教員などを目指す教育学部子ども教育学科の学生や教員らが、積み木あそびや科学あそび、英語を使ったゲーム、音楽会など12の催しを企画し、子どもたちと一緒に楽しみました。「親子ふれあいフェスタ」も同時に開催されました。



学生がいろいろなあそびを企画した「みんなの森の学校」=各務原キャンパス

子育て中の家族が音楽鑑賞 ～赤ちゃんだってクラシック～

「赤ちゃんだってクラシック」を9月5日、関市のわかさ・プラザで開催しました。子育て中の家族や妊婦さんにもコンサートを楽しんでもらおうと企画し今年で10回目。会場には赤ちゃんを抱えたお母さんなど約400人が訪れ、ピアノやマリンバ、華やかな歌声、音楽に合わせた紙パフォーマンスなどを楽しみました。桐が丘幼稚園の園児も歌を披露しました。



ピアノや合唱、紙パフォーマンスなどが繰り広げられた「赤ちゃんだってクラシック」=関市、わかさ・プラザ

スポーツ健康科学部 始動

健康増進も含め、生涯にわたりスポーツを楽しむ人が増える中、今年度、新たにスポーツ健康科学部スポーツ健康科学科を開設しました。新学部では、さまざまな角度からスポーツに関わる専門家を育成してまいります。今回は、古田善伯学長と学部長の松岡敏男教授に、学部のねらい、学生に期待することなどを聞きました。



スポーツ健康学部への期待を語る古田善伯学長(左)と松岡敏男学部長(写真は岐阜新聞インタビューより)

古田善伯学長と松岡敏男学部長に聞く

生涯学習を支える人材に
多目的学習で指導者育成

「スポーツ健康科学部を新設し、期待するところは。」

古田学長 スポーツは教育や福祉などの分野にも通じるため、本学に既存する教育学部や看護リハビリテーション学部、人間福祉学部ともつながっています。これから、本学に対するイメージも変わり、より幅広く、より深く、より深く思っています。

「スポーツ健康科学部が目指すところは。」

松岡学部長 年齢や体力、障がい程度に合わせて的確に指導できるスポーツ指導者の輩出を目指しています。また、スポーツは生涯教育につながり

「これからの指導者となる学生に望むことは。」

古田学長 指導者には、体系的にスポーツを理解し、スポーツ科学や健康科学、トレーニング科学を身に付けた上で、自分の考えを上げるのが求められます。本学は「生きる、を学ぶ」を合言葉に取り組んでいます。人間性をしっかりと養い、指導者として独り立ちするための基礎を学んでほしいです。

「高年齢が進む中、安全で健康にスポーツができる環境をつくり、専門教育を受けた指導者が増えていくことが欠かせないと考えています。」

「これからの指導者となる学生に望むことは。」

古田学長 指導者には、体系的にスポーツを理解し、スポーツ科学や健康科学、トレーニング科学を身に付けた上で、自分の考えを上げるのが求められます。本学は「生きる、を学ぶ」を合言葉に取り組んでいます。人間性をしっかりと養い、指導者として独り立ちするための基礎を学んでほしいです。

特別講演会・シンポジウム



勝田 隆

日本スポーツ振興センター・ハイパフォーマンス・センター長、国立スポーツ科学センター長、同スポーツ開発部長、同スポーツ・インテグリティ・ユニット長、筑波大学客員教授、2020東京オリンピック・パラリンピック大会組織委員会 インテグリティ・ディレクター、2019ラグビーワールドカップ組織委員会評議員、日本パラリンピック委員会運営委員 日本ラグビー協会 理事

スポーツ健康科学部開設を記念した特別講演会を7月8日、関キャンパスで行いました。第一部の特別講演では、日本スポーツ振興センターでジャパン・ハイパフォーマンス・センター長などを務める勝田さんが「2020に向けて、2020を越えてースポーツと関わる力ー」と題して講演しました。



シンポジスト/原田憲一(スポーツ教育学)、鈴木 壯(スポーツ心理学)、有川 一(生理学)、柿島新太郎(スポーツマネジメント)、鈴木康介(体育科教育) コーディネーター/池谷茂隆

日本スポーツ振興センター ジャパン・ハイパフォーマンス・センター長講演

勝田さんが指摘したキーワードは、「スポーツの視点」。「どのようにスポーツを捉えるか」「自分がどのようにスポーツと関わっていくのか」について、自身の取り組みなどを紹介しながら、分かりやすく伝えました。また、「喜怒哀楽や悪意などスポーツは瞬時に人間の本能を引き出す」と指摘し、「スポーツで価値を守っていくためには、英語で健全性を意味する「インテグリティ」が必要であることを強調しました。

第二部の特別シンポジウムでは、本学スポーツ健康科学部の教員が、「スポーツ心理学」「スポーツ教育学」「生理学」「スポーツマネジメント」「体育科教育」といったそれぞれの専門領域から、スポーツ教育について意見を述べ合いました。

柿島新太郎ゼミ

Jリーグ観戦者調査を実施 500名にアンケート

ゼミ活動の一環として、柿島新太郎ゼミの学生がJリーグ観戦者調査を6月3日、岐阜市の長良川競技場で行いました。調査ではJリーグ30クラブのホームゲームを対象に、観戦者の動機や勧誘行動などを調べています。FC岐阜のホームゲームで学生はスタッフとして参加。猛暑の中、約500名のアンケートを回収しました。得られた調査結果は、Jリーグや各クラブのマーケティングに活用されるなど、日本のプロスポーツ産業を支える貴重な資料になります。



事前のオリエンテーションを受ける学生。調査の趣旨を丁寧に伝え、アンケート調査を行いました=いずれも長良川競技場

学部開設記念講演会

岐阜大学元学長 黒木登志夫さんが講演 「よい生活習慣と生涯スポーツが作る健康」

体育館と運動学実習棟の竣工式が行われた6月10日、スポーツ健康科学部開設を記念した講演会を関キャンパスで行いました。

講師は元岐阜大学学長の黒木登志夫さん。日本学術振興会学術システム研究センター顧問などを歴任し、東京大学名誉教授、岐阜大学名誉教授を務めています。「よい生活習慣と生涯スポーツが作る健康」と題して講演しました。

研究者として世界の研究所(WHOがん研究機関、東大医科研等)でがんの基礎研究に従事。近著に「研究不正-科学者の捏造、改竄、盗用」(2016年)、「IPS細胞-不可能を可能にした細胞」(2015年)、「健康・老化・寿命 人とのいのちの文化誌」(2014年)など。



黒木さんは「生涯スポーツが健康寿命を延ばす」ことの理由や背景などを自身のガンに関する研究を踏まえながら、分かりやすく、ユーモアを交えながら伝えました。



生徒を伸ばしてくれる大学ランキング 東海地区私立大学1位

「生徒を伸ばしてくれる大学」ランキング100(東洋経済ONLINE4月7日付)が発表され、本学は東海地区の私立大学で1位(全国52位)となりました。

ランキングは、大学通信が毎年、全国約2000の高校の進学校の進路指導教員に、アンケート調査を行っています。大学の古田善伯学長は「本学は『生きる、を学ぶ』を標語に掲げ、『地域と共に生きていく大学』として、地域の発展に貢献する人材を育成してきました。常に学生に寄り添い、目標実現のために、教職員が面倒見のいい教育を実践してきたことが評価されたと思っています。これからも積極的に学生を育てていきたいです」と抱負を語りました。また、「改革力で優れている大学」103校ランキング(同6月9日付)では、県内にある大学で唯一ワンクイン(全国63位タイ)しました。



ゼミや講義ではきめ細やかな面倒見のある指導を行っています=看護リハビリテーション学部理学療法学科の講義より

看護リハビリテーション学部 理学療法学科 理学療法士 国試合格率100%

第52回理学療法士国家試験(2017年2月実施)において、看護リハビリテーション学部理学療法学科の合格率は新卒受験者が100%(受験者/合格者43名、全国平均90.3%)を達成しました。

同学科の国家試験対策の大きな特徴は、①到達度テストの実施(2、3年次) ②グループ学習の実施(4年後期) ③特別クラスによる強化 ④個人面談による底上げ ⑤充実した実習による知識と技術を習得一などが挙げられます。

理学療法士国家試験対策委員会の三川浩太郎委員長(同学科准教授)は「4年間を通じて、合格率100%となるように取り組んでいます。特に1、2年次からの対策は重要で、到達度テストでは国家試験

に向けて意識づけにつながっていると感じています。来年以降も100%を続けていけるように努めていきたい」と話しています。



グループ学習や特別クラスなどで力を養い、本番の試験に備える学生ら=関キャンパス



ユニバーシアード競技大会では、予選ラウンド、スーパーラウンドで先発出場。大会を通じて、すべての試合に出場した内海選手



ユニバーシアード競技大会2連覇となる金メダルを獲得し、笑顔で記念写真に臨む侍ジャパン大学代表の選手ら。内海選手は前から2列目右から3人目。



ユニバーシアード競技大会予選ラウンド日本×アメリカ。逆転となる満塁本塁打を放った中川圭太内野手(6=東洋大)を笑顔で迎える内海選手(右から3人目)



バックスクリーンで紹介される内海選手。日米野球選手権大会より。



金メダルを手に喜びの報告をする内海選手。右から硬式野球部の原克隆監督、学校法人岐阜済美学院の片桐武司理事長、内海選手、大学の古田昭信学長、短期大学の片桐多恵子学長

世界で体感した技術や精神をチームに還元 打撃力の向上が課題 一戦一戦に集中

「日米野球選手権大会、ユニバーシアード競技大会を振り返っていかがですか。」
内海 今までにない貴重な体験をすることができました。昨年11月の選考から始まり、7月には最終メンバーが発表され、お互い助け合いながら、チームが一つとなつて同じ方向に進んでいました。また、国内の選手をはじめ、世界の高いレベルの中でプレーすること

ができて、自分のレベルを知ることもできました。今回得たことをチームに還元することも役割の一つだと思っているので、しっかりと部員に伝え、後輩にも続いてほしいと思います。
「これからの課題、強化したい点は。」
内海 バッティングのレベルを上げることで、力まずに8割ほどの力でジャストミートする「ベストスイング」

を心掛けてきましたが、自分の考え方も間違っているのではないかと自信を持つことができませんでした。一方で、バッティングは人それぞれで、今までのない視点から捉える機会にもなりました。レベルを上げないと、プロの世界では通用しないので、タイミングを早く取ったり、スイングの角度を意識したり、甘い球をしっかりと捉えられるように集中力を高めて秋季リーグに臨んでいます。

「今後の目標を聞かせてください。」
内海 ラストシーズンは明治神宮大会出場という目標があるので、チャンスで打席が回ってきたら、自分がランナーを帰すくらいの気持ちで戦っています。一つ一つの結果が神宮につながる、自分自身の次のステップにもつながるので、一戦一戦、力を出し切り、しっかりと勝ち、神宮につなげていきたいです。

野球の侍ジャパン大学代表に、硬式野球部主将の内海大寿外野手(経営学部4年、徳島商業高校出身)が本学から初めて選ばれました。7月の第41回日米野球選手権大会(アメリカ)、8月の第29回ユニバーシアード競技大会(台湾)に出場し、ユニバーシアードでは大会2連覇となる金メダルを獲得しました。

侍ジャパン大学代表 ユニバーシアードで金メダル



硬式野球部(経営学部経営学科4年/徳島商業高校出身)

う つ み た い じ ゅ

内海 大寿選手

1996(平成8)年、徳島県出身。180cm、84kg。小学1年から野球を始め、スポーツ少年団、中学校では部活動の軟式野球部を経て、名門・徳島商業高校に進学。硬式野球部ではバッティングをかわれ、投手から内野手に転向し、1年秋からレギュラー。2年秋から外野手に転向。高校卒業後は就職を考えていたが、中部学院大学硬式野球部の原克隆監督と同校監督との縁もあり進学を決意。入学時の主将は、プロ野球広島東洋カープから1位指名を受けた野間峻祥選手で刺激を受けた。1年の時には明治神宮大会でベンチ入り。広島で活躍する床田寛樹投手とは一緒にプレーし、「自分も頑張ったら道が開けるを感じた」。2016年度秋季岐阜リーグベストナイン、秋季東海選手権優秀選手賞。好きな言葉は「栄光に近道なし」。

ユニバーシアード競技大会予選ラウンド・ロシア戦で適時打を放つ内海大寿選手=台湾

後援会総会・保護者懇談会を開催

保護者との連携を大切に

後援会総会

6月3日(土)、関キャンパスのグレースホールにおいて「2017年度後援会総会・保護者懇談会」を開催しました。今年は約210名の方々が総会や体験講座などに参加されました。



チャペルアワーの様子より=関キャンパス

保護者の皆さまへ

本学では建学の精神や大学の教育方針、並びにキャリア支援などについて、保護者の皆様にご理解いただくために、毎年「後援会総会・保護者懇談会」を開催しています。

保護者の皆様にご好評をいただいていますチャペルアワーを最初に開催しました。志村真短期大学部宗教主事の司会で始まり、短期大学部幼児教育学科の杉山祐子教授によるパイプオルガンの讃美、一同で賛美歌を斉唱したのち、高木総平岐阜済美学院宗教主事が『人はパンだけで生きるものではない』と題してメッセージを送りました。

引き続き、佐野正明後援会会長のごあいさつと新役員のご紹介があり、総会の議事に入りました。それぞれの議案について事務局から報告がなされ、熱心な審議がなされたのち後援会総会を閉会しました。後援会新役員は、次のみなさんです。1年間よろしくお願ひします。

保護者懇談会

後援会総会に引き続き、グレースホールにおいて保護者懇談会を行いました。

《中部学院での夢の実現を》と題して、古田善伯大が今年度スタートしたスポーツ健康科学部の状況や新しく完成した体育館(栄光館)及び運動学実習棟



あいさつする佐野正明後援会会長

の様子について、「生徒を伸ばしてくれる大学」ランキング100で本学が全国52位(中部地域において名古屋大学に次いで2位、私立大学では1位)に選ばれたことなど大学の現状と教育方針などについて説明しました。

続いて、片桐多恵子短期大学部学長が短大50周年・学院100周年の人づくりの歩みの中で地域に根ざして発展してきた本学への期待が益々高まってきていること、教職員と学生の距離は近くアットホームな雰囲気の中で就職率は幼児教育学科15年連続100%、社会福祉学科14年連続100%を達成していることなど短期大学の現状と教育方針などについて説明しました。次に、本学が誇りとして高い就職率の原動力となっているキャリア支援について、古川学キャリア支

援センター事務課長が説明

しました。学部・学科別の就職決定先の紹介、1年次から4年次に至る具体的なキャリアサポートについて、スライドを用いてわかりやすく報告しました。

最後に、学生を代表して後藤里菜前年度学生会副会長が中部学院での充実した学生生活の様子や、進路・卒業に向けての抱負を語りました。

体験講座・講義

その後、大学の授業を実際に体験していただくための「体験講座・講義」を開催しました。本年度は別記のとおり大学、短大の講座のほか、消防署による防災関連講座を設け4つの講座を受講し



体験講座に耳を傾ける保護者

ていただきました。いずれの講座にも多くの保護者の方が聴講してくださり、講師の先生の話にも一段と熱が入りました。

講座修了後、ポローニア学生食堂にて昼食をとり、午後からのプログラムである学科別説明会と個別懇談会に進みました。教育学部、経営学部、スポーツ健康科学部の保護者の方はスクールバス等で各務原キャンパスへ移動し、午後のプログラムに参加していただきました。

今年度は、学科別説明会に178名、個別懇談会に145名が参加され、学校生活に関する単位取得や就職に関することなどについて、担当の教員とじっくり面談されました。



学科説明会の様子より

体験講座・講義のテーマと講師

◆認知症のある方とのコミュニケーション

人間福祉学部 森田直子 准教授

◆新体育館・運動学実習棟見学ツアー ならびに最新機器を用いた身体能力測定体験

スポーツ健康科学部 有川一 准教授

◆ピアノで綴る・おはなしの世界

短期大学部 幼児教育学科 岡田泰子 准教授
ダーリンブル親子 准教授

◆大規模地震の発生に対する防災の備え

中濃消防組合消防本部 西部和正 消防士長

地区別保護者懇談会

関キャンパスや各務原キャンパスで開催される保護者懇談会に参加することができない遠方にお住まいの保護者の方々のために、毎年、地区別保護者懇談会を行っています。本年度は松本市、浜松市、高山市において開催しました。

松本会場は7月1日、浜松会場は7月15日、高山会場は7月22日に開催し、3会場合わせて41名の方にご参加をいただきました。いずれの会場においても、学長事務局長のあいさつ、本学のキャリア支援についての説明を

した後、個別懇談を行いました。参加された保護者の方は、みな熱心に質問されたり説明に聞き入りたりされていました。関キャンパス各務原キャンパスで行われた「後援会総会・保護者懇談会」と、松本市、浜松市、高山市で行われた「地区別保護者懇談会」では、参加者アンケートを実施しました。アンケート結果は、10月7日に開催される第2回後援会役員会においてご報告します。また、来年度の会をより良いものにするために活用します。アンケートにご協力いただきました皆様にあらかじめ御礼を申し上げます。

【学生数・出身地・下宿状況】

2017年5月1日現在

大 学				
学 生 数	学 部	男	女	計
	人間福祉	154	155	309
	教育	80	197	277
	看護リハ	232	313	545
	経 営	183	37	220
	スポーツ健康科学	69	15	84
別 科	4	6	10	
合 計	722	723	1,445	

*通信教育部は含まない

出 身 地	岐 阜	916	63.4%
	愛 知	212	14.7%
	三 重	32	2.2%
	静 岡	23	1.6%
	北海道・東北	6	0.4%
	関東・甲信越	70	4.8%
	北 陸	52	3.6%
	近 畿	44	3.0%
	中国・四国	15	1.0%
	九州・沖縄	13	0.9%
海外 (中国・韓国・バトナム・ブラジル・ペルー・キルギス)	62	4.3%	

下 宿 状 況	性 別	男	女	合計
	学生数	722	723	1,445
	自宅生	435	560	995
	下宿生	287	163	450
	下宿率%	39.8%	22.5%	31.1%

短期大学部

学 生 数	学 科	男	女	計
	社会福祉	33	110	143
	幼児教育	11	189	200
	専攻科	0	4	4
	合 計	44	303	347

出 身 地	岐 阜	327	94.2%
	愛 知	14	4.0%
	関東・甲信越	4	1.2%
	海 外	2	0.6%

下 宿 状 況	性 別	男	女	合計
	学生数	44	303	347
	自宅生	35	266	301
	下宿生	9	37	46
	下宿率%	20.5%	12.2%	13.3%

部・クラブ・サークル紹介

今年度、課外活動で成果を上げた部・クラブ・サークルを順次紹介します。



サークル誕生のきっかけは2016年度大学ネットワークコンソシアムの地域課題解決提案事業を通して関わらせていただいた、南ヶ丘小学校の校長先生の「学習サポートの

ボランティアに学生さんに来てもらえませんか」の一言でした。何人かの学生に声をかけたところ子どもの学習支援に関心を持つ学生も多く、声掛けから1



Changeのメンバー

年10月にサークルが立ち上がりました。2017年9月現在、登録メンバーは27名。主な活動内容は、生活困窮者自立支援法に基づく岐阜市の助成事業によって設立された「みどり病院学習支援こもれび」への定期的なボランティアです。付随してこの事業の定例会議へも参加させていた



学習支援教室の様子

子どもたちの居場所づくりと可能性の発見をサポート

組まれています。メンバーは子どもたちの勉強や遊びを一緒に行いサポートを行っています。そのほかにも現在、私が関わらせていただいています地域連携の一つ、「倉知ふれあいまちづくり協議会」へのボランティア活動も行っています。この協議会は住民らが地域の課題解決のために多様な事業に取り組みされており、その中の一つ、子育て支援部の読み聞かせに参加しています。8月の読み聞かせでは地域にお住いのボ

ランティア後藤博見さんから読み聞かせの極意を学ばせていただきました。後藤さんは関市の音楽劇の会にも入っておられ、良く通るテノールで歌とハーモニカを奏で、物語をまるで映像のように伝えるパフォーマンスでした。子どもたちはもちろん、サークルのメンバーも釘づけとなりました。

これらの活動以外には支援のために学習会を3年生中心に行っています。まだまだ、若いサークルで、これから経験を積んで子どもたちの居場所づくりや可能性の発見に役立てるよう尽力したいです。もちろん子どもや関係機関と学生たちの双方の関わりから、学生の成長も図っていきたいと考えています。(学習支援サークル Change 顧問・谷口真由美)

陸上競技部



日本学生陸上競技対校選手権の女子10000m競歩で4連覇を達成した五藤怜奈選手(福井市、福井県立陸上競技場)

陸上競技の日本学生対校選手権(インカレ)が9月、福井市の福井県立陸上競技場で開かれ、女子10000

日本学生対校女子10000m競歩 五藤選手 大会4連覇の快挙

0分競歩に出場した五藤怜奈選手(人間福祉学部4年、済美高校出身)が4連覇を達成しました。また、同月には福島市のとうほう・みんなのスタジアムで開かれた2017ジャパンパラ陸上競技大会には、杉村ふうか選手(同3年、華陽フロンティア高校出身)、高柳優選手(同1年、三重・津田学園高校出身)が出場しました。

ゴルフ部

男子は全国大学対校戦、女子は日本女子学生対校戦に出場

ゴルフの中部学生春季1部・2部大学対校戦が5月、愛知県豊田市のセントクリックゴルフクラブで行われ、本学ゴルフ部は6年連続6回目の優勝を果たし、全国大学対校戦(6月・北海道・苫小牧ゴルフリゾート72)に出場しました(結果は12位)。日本アマチュア選手権(7月・広島カントリー倶楽部)では、岩淵隆作選手(経営学部3年、愛知・栄徳高校出身)が59位タイ、中山絹也選手(同2年、三重・津田学園高校出身)が100位タイでした。また、日本学生選手権ならびに日本女子学生選手権(8月・三重・四日市カント



全国大学対校戦に出場するなど成績を残しているゴルフ部のメンバー

リ(倶楽部)では、岩淵選手が5位、女子は池田美菜選手(同4年、石川・金沢学院東高校出身)が3位タイに入りました。そのほか、中部学生選手権では、三島泰哉選手(同2年、中京学院大学中京高校出身)が優勝しました。

吹奏楽部

東海コンクール出場 2年連続金賞受賞



東海吹奏楽コンクールで2年連続の金賞を受賞した吹奏楽部

第72回東海吹奏楽コンクールが9月3日、静岡市の清水文

化会館マリナートで行われ、大学の部に岐阜県代表として出場した吹奏楽部は、昨年に引き続き、金賞を受賞しました(全国大会には静岡大学が出場)。コンクール(大学の部)には、愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県から6大

プロジェクトチーム「ネット安全局アイリス」

児童や生徒らにインターネットやスマートフォンに潜む危険や安全な利用方法を理解してもらおうと、プロジェクトチーム「ネット安全局アイリス」が活動しています。県内の学生8人が中心となり、小中学校などで「情報モラル教室」を開いています。代表を務める大野友也さん(人間福祉学部4年、関商工高校出身)

児童らにスマホ教室 開催



ボランティアで活動するネット安全局アイリス。写真前列中央は代表の大野友也さん

は「経験を伝え、今後に生かしてほしい」と話しています。

えがお 愛顔つなぐえひめ国体に本学から8人が出場

9月30日に愛媛県で開催した「第72回国民体育大会(愛顔つなぐえひめ国体)」に本学から8人が出場しました。陸上競技では、成年女子5000m競歩に五藤怜奈選手(人間福祉学部4年、済美高校出身)が、成年女子バスケットボールには砂川優花選手(福岡・中村学園高校出身)が、

ゴルフ成年男子では、経営学部の大内智文選手(3年、中京学院大中京高校出身)、中山絹也選手(2年、三重・津田学園高校出身)が出場。女子は、副田あかり選手(経営4年、美濃加茂高校出身)、池田美菜選手(同、石川・金沢学院高校出身)、円角有希(スポーツ健康科学1年、同)が出場。また、本学ゴルフ部の櫻井和男監督がゴルフの成年男子、女子の監督、本学女子バスケットボール部の櫻川唯監督が成年女子の監督を務めました。

大内智文選手	中山絹也選手	副田あかり選手	池田美菜選手	浅井美帆選手	円角有希選手	砂川優花選手	五藤怜奈選手

講演会など

市民公開講座をはじめ、各種セミナーなど、各界で活躍する先生を講師に招いて講義や講演会を開催しています。

現代産業研究 ～第一線で活躍するリーダーから学ぶ～

経営学部 シティカレッジ各務原/関

各界のトップが経験豊富な人生観を語る

経営学部とシティカレッジ各務原/関の公開講座「現代マネジメント研究」を今年度も8回シリーズ(4月-7月)で開催しました。グローバルな視点を持つ「地域人」を育てるため、産官学協働により開講しています。地域経済の活性化に取り組み、社会の第一線で活躍している各界のリーダー8人から、現状の課題や戦略、リーダーの心構え、豊かな人生経験などを学び、人生設計を考える機会となりました。



【2017年度講師】(順不同、肩書きは講演当時)

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 宗次 徳二氏 (カレーハウスCoCo番屋創業者、本学客員教授) | 小出 宣昭氏 (中日新聞社代表取締役社長) |
| 重森 万紀氏 (NHK 岐阜放送局長) | 日比野克彦氏 (岐阜県美術館長、東京藝術大学美術学部長、同教授) |
| 宮地 正直氏 (株式会社電算システム代表取締役会長執行役員CEO) | 片桐 千華氏 (株式会社資生堂グローバルイノベーションセンター グループマネージャー、理学博士) |
| 若井 敦子氏 (西濃運輸株式会社空手道部監督・岐阜県議会議員) | 山田 拓郎氏 (犬山市長) |

京都大学高等研究院 特別教授 松沢哲郎 本学客員教授が講演

中部学院大学公開講座

「互いを思いやる 心の進化」

チンパンジー研究の第一人者で、京都大学霊長類研究所教授、財団法人日本モンキーセンター所長の松沢哲郎教授による公開講座を7月、関キャンパスで開催しました。テーマは「互いを思いやる心の進化」。これまで行ってきたチンパンジー・アイとのプロジェクトや人間とチンパンジーの比較認知科学研究について触れ、「人にはお互いに思いやり、分かち合い、慈しむという想像する力があります。チンパンジーには見られない」と語りました。後期は各務原キャンパスで予定しています。



本学教授らが「ココロ」について講演

各務原市民セミナー

踊って詠って健康を維持しよう!

本学と各務原市西ライフデザインセンターが企画している「各務原市民セミナー」を5月から8月まで、各務原キャンパスで行いました。今回のテーマは「ココロの解剖学-もう悩まない人付き合い」。本学の人間福祉学部や教育学部、看護リハビリテーション学部、短期大学部幼児教育学科、同社会福祉学科の教授陣を講師に、7回シリーズで開きました。講義では、「コミュニケーション」について、さまざまな角度から人と人がこころを通わせるためのヒントを学びました。



トピックス

各学部学科や部活動では、さまざまな研究発表や課外活動を繰り広げ、積極的に活動しています。

岐阜県と福祉人材の育成・確保などで連携協定 関市観光協会と連携 観光資源の発掘に学生が一助

岐阜県と本学は7月、介護や保育など福祉分野の人材育成、確保を図ろうと連携協定を締結しました。今回の締結では、「福祉就労の啓発と普及に関すること」「福祉を学んだ学生の県内就労の促進に関すること」「福祉従事者の研修・キャリアアップに関すること」「福祉に関する共同研究の実施に関すること」「外国人介護人材の活用促進に関すること」の5つの政策を掲げています。

また、本学は7月、関市と一般社団法人関市観光協会と観光に関する連携協定を締結しました。今後、学生を集い、関市東部の武儀、上之保地域、西部の武芸川、洞戸、板取地域を散策し、新たな観光資源の発掘につなげていく予定です。



「美濃と飛騨のふくし」地域の課題を考える フィールドワークや市長とのワークショップを開催

県内の地域の現状について学ぶ「美濃と飛騨のふくし」を今年度も開講しました。この科目は、地域に対する関心を高め、さまざまな活動に参加することで、地域における役割を見つける地域連携科目。7月には本巣市外山の田舎暮らし体験施設「couch(カウチ)」で特別講義フィールドワークを実施。地域おこし協力隊員から地域の状況や地域おこしの計画を聞いたり、設計士の指導を受けながら竹を使ったビニールハウスの製作に挑戦したりしました。また、「couch」の活用法についてアイデアを考えました。また、学内では関市の尾関健治市長を招いたワークショップも行い、同市の課題について意見を出し合いました。



長良川鉄道と連携 あそびスター七タトレインほか

長良川鉄道(本社・関市)とさまざまな連携をしています。短期大学部社会福祉学科の美・デザインコースは4月、「長良川鉄道沿線周辺のくらし写真展」を開催しました。7月には「NAGARAあそびスター七タトレイン」を運行。同幼児教育学科の学生が列車内で子どもたちと七夕飾りを作ったり、読み聞かせをしたりしました。



人間福祉学部 大同窓会を開催

中部学院大学ならびに人間福祉学部がことし開設20周年を迎えるのを記念し、同学部の卒業生が一堂に集う大同窓会を6月、岐阜市のじゅうろくプラザで行いました。会場には、県内外からすべての卒業年度の卒業生がそろい、約110人が出席しました。今回を機に、卒業生の交流を活発にしていきたいことを全員で確認しました。



今後の予定

可能性あり
時間は変更の

第15回 いきいき地域! たのしみん祭・大学祭(※)
(同時開催)ホームカミングデー、オープンキャンパス
●10月21日(土)9:30~19:30
●関キャンパス、関特別支援学校

第12回 学びの森フェスティバル(※)
●11月3日(金)9:00~15:00
●各務原キャンパス、学びの森

第26回 中部手話スピーチコンテスト(※)
●11月18日(土)13:00~16:30
●各務原キャンパス

岐阜済美学院創立100周年記念祭典
●11月25日(土)
●長良川国際会議場

クリスマス礼拝・祝会
●12月21日(木) ●関キャンパス

クリスマス会
●12月(未定) ●各務原キャンパス

プロムナードコンサート2017(※)
●12月23日(土)14:00(開場13:30)
●各務原市民会館

吹奏楽部第17回定期演奏会(※)
●12月24日(日)13:30(開場13:00)
●関市文化会館

各種表彰式・卒業礼拝
●3月16日(金)10:00
●関キャンパス

卒業式(※)
●3月17日(土)10:00~11:30
●長良川国際会議場

(※)・・・保護者の方も参加していただけます。



中部学院大学 大学院 / 大学 / 短期大学部

Chubu Gakuin University & College

[関 キャンパス] 〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地 TEL 0575-24-2211
[各務原キャンパス] 〒504-0837 岐阜県各務原市那加甥田町30-1 TEL 058-375-3600

[大 学 院] ◆人間福祉学研究科 修士課程 博士課程(後期)

[大 学] ◆人間福祉学部 人間福祉学科(社会福祉コース/精神保健福祉コース/介護支援コース/地域貢献コース)
通信教育部 ◆教育学部 子ども教育学科(子ども教育コース/保育・発達支援コース) ◆看護リハビリテーション学部
理学療法学科 看護学科 ◆スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科(スポーツ健康コース/障がい者スポーツコース/
スポーツ経営コース) ◆経営学部 経営学科(企業マネジメントコース/まちづくり地域人養成コース/スポーツマネジ
メントコース/職業会計人コース)*

[短期大学部] ◆幼児教育学科(乳幼児保育コース/障がい児保育コース/子ども家庭支援コース) ◆社会福祉学科(介護
福祉コース/美・デザインコース) ◆専攻科(福祉専攻)

* 2017年4月より募集停止 ※コースは変更する場合あり